

留学体験レポート

21016008 五十嵐舞花

1. はじめに

私は約4か月留学生活でたくさんのお話をたくさんの人から学びました。そのことをこれからお話していきたいと思います。

2. 授業について

まずガイダンスが終わった後クラス分けテストを受けました。レベルが4つに分かれているうちの私はlevel.6、上から二番目のクラスに入りました。ここには韓国人、中国人、日本人、パキスタン人、ヨルダン人、アラブ首長国連邦人の学生たちがいました。国際情報の学生たちは一週間遅れで授業に参加したので少し遅れを取ってしまいました。まずすべての授業で多かったのはペアワークです。私は最初の授業でテキストをまだもらってなかったのがペアワークで韓国人の子と一緒にになりました。クラスの人たちはみんな優しく積極的に発言もしていて最初は少し怖気ついてしまいましたが、最後のほうの授業では自分から手を挙げて発言、プレゼンでも自分の意見を言えるようになりました。授業の先生たちはみんな優しくわかりやすく説明しつつ私たちのことを気にかけてくれたのでとてもやりやすく楽しい授業の時間が過ぎました。今になって思ったのが最初の授業のほうでももっと積極的に発言することや、わからないところを周りのみんなに確認するべきでした。最初の授業のほうではやることすらわからない時があって日本人の学生になにをすればいいか日本語で聞いたこともありました。これでは英語の習得が遅くなります。恥ずかしがらずに発言や英語を話すことで周りとのコミュニケーションもとることができるし、自分の頭にもはっきりと残るのでそのことはとても後悔しています。しかし授業を通してクラスメイトと仲良くなれたこと、各国々に英語という言語を通じて友人ができたことは一生の宝物です。

3. 空き時間について

私たちのスケジュールは土日休み、金曜日は一時間だけだったので休日は時間がたくさんありました。課題はとても多かったのですが、早く終わらせて他のことに時間を使うことも大切だと思ったので積極的に外出しました。学校内にあるジムへ行ったり、図書館へ行ったり、韓国人の友人の寮に遊びに行ったりしました。また、現地の日本人と仲良くなったので、そこからその人たちの友人である他国の人などを招いてホームパーティをしました。ここでは英語を使って会話をしたりゲームをしたり、日本語を教えたり、また違う言語を教えてもらったり、英語を通して他国の友人と会話

ができることにとても驚きと喜びを感じました。

4. おわりに

私が留学で学んだことは決して勉強だけではありません。授業や勉強も大切ですがアメリカ文化に触れ、日本ではできない体験をして帰国することも重要なのではないかと思います。空き時間があればどこかに行ってみたり勉強するにしても図書館へ行ってみたりすることで自然に英語も耳に入ってきます。そうして私は約4か月という短い期間の中でも充実した留学生活を送ることができました。また、これまで協力、支援してくれた方々への感謝を忘れずに生活すること、一日一日を精一杯有効に使うことが最も大切なことだと感じました。